



竹田 ゆかり 市政通信

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎 5-31-11 連絡先 090-3535-4474

E-mail yukari.ain@gmail.com 「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味がありま

運転免許証自主返納者へ 支援策を…(一般質問より)

県の調査によると、県内65歳以上

心配です。

の高齢運転者による事故は、ここ5年間で6%減少しているものの、事故全体に占める割合は年々増加しています。特に、事故による死者数が増加傾向にあり、事故の深刻さ重大性が指摘されています。

市は高齢者が年を重ねても、元気に自分らしく地域で暮らしていただくために「介護予防事業」の対象となる方々に参加の呼びかけをしても、参加率が低いという現状があります。また、次期高齢者福祉計画「策定にあたって行われたアンケート調査」

機能の低下などを理由に、運転免許証を自主返納する数が、鎌倉市内では過去5年間で約3倍に増え、特に昨年は前年比1.4倍の678人でした。

00人対象)では、近所との付き合いをしていない。あいさつ程度」と答えた人が70%、藤沢市の同様の調査では30%。横須賀は25%でした。

自主返納者数が増加するようには、事故防止につながり、渋滞緩和、鎌倉市の目指す「市民自らが、進んで自動車利用を抑制する行動」を推進することにもなります。しかし、良いことばかりではありません。

一の結果から、鎌倉市の高齢者は、他市に比べて近所づきあいが希薄であることが分かります。高齢者が地域で孤立するところがないよう、ご自身も心身ともに健康で書らせるよう、外出を促す手立として、公共交通無料パス、または無料回数券の配布を求めました。

それは、免許証返納により、高齢者の外出の機会が減り、心身の衰えが進むのではないか、社会とのつながりが薄れる、場合によっては認知症を誘発するのではないかとこ

特に、免許返納により、生活が大きく変わるようが予想される方々からの配布を求めました。答弁・福祉の観点から踏まえながら研究しよう。

1

戦争による、唯一の被爆国「日本」が果たすべき役割は何か。

「核兵器禁止条約に日本政府が積極的役割を果たすことを求める意見書」…賛成討論(予定)

しかし、今年「核兵器廃絶」に向けた新たな歴史が刻まれた年といえます。

7月7日、国連会議で、核兵器を法的に禁止する「核兵器禁止条約」が122か国の賛成で採択されました。条約の1条(禁止事項)では、「核兵器の使用」だけでなく「使用の威嚇」が明記されました。これは、「核兵器を使うぞ」と威嚇することを禁止するということです。つまり、「核抑止論」が否定されたということです。日本は、「核の傘」に依存する姿勢を取っていますが、その考えが、根本から否定されたこととなります。

残念ながら、日本は交渉会議に不参加という態度で臨みましたが、これからは、戦争による唯一の被爆国日本こそが、この122か国の決意にこたえて、胸を張って、核兵器の非人道性について、世界に訴えていく役割を果たしていくべきと考え、本意見書提出に賛成します。

鎌倉市は全国に先駆けて、1958年平和都市宣言を行いました。その中で鎌倉市は「核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、全世界の人々と相協力してその実現を期する」と宣言しています。

期すると言うのは単に期待するということではなく、ここでは、「約束する」という意味で使われています。

この鎌倉市議会の決意から59年が経過しましたが、世界には今だ、数多くの核兵器が存在し、こともあろうに核保有国は、核兵器の近代化を推し進めています。まさに、「核兵器廃絶」とは真逆な方向を向いています。

小学校5・6年生で、教科「英語」が始まるけれど…。 一般質問より

2020年から施行される「小学校新学習指導要領」では、5.6年生で週2時間「英語科」の学習が始まります。これは、これまで行われていた「外国語活動」と異なり、中学校以上と同様の「教科」としての英語です。そして3.4年生から、「外国語活動」が始まります。

現在、鎌倉市教育委員会では、2年後の本格実施に向けて来年度から始まる「移行期間の取り組み」について、「現行週28時間よりもさらに増える授業時数をどう確保するのか」「英語の免許を持たない小学校の教員が、どのようにして英語の授業を行うのか」などの検討が進められています。そこで、次のようなことを求めました。

- 「新学習指導要領検討委員会」での議論では、十分に学校現場の声を吸い上げること
- 中学校からの英語学習のスタートにあたって、卒業した小学校によって英語力にばらつきが出ることがないように準備を進めること
- 教職員の過重な負担とならないよう、「専門性の高い英語」の指導に当たって、英語の免許を持つ専科教諭を配置すること。



答弁…●小中学校教員代表を含む「新学習指導要領検討委員会」で議論を進めている。●児童用冊子・デジタル教材・教師用指導書・補助教材などを本年度中に学校に送付予定●現在、英語免許を持つ非常勤講師が2名配置されているが、増員も視野に入れて今後検討していく。

これまでの教科書採択のあり方が突然変更されたのはなぜか？ 一般質問より

これまで、鎌倉市教科用図書採択にあたって、検討委員会が、教育委員会に挙げる「報告書」には、文章表記とともに、総合評定を付してきた。(☆印)

ところが今回の採択は、「道徳という教科の特性もあり、一教科の選択であるため十分な議論ができる」という理由で、☆印を付さなかった。

ところが、検討委員会の議事録を読むと、「今後も、教科が8教科になっても、☆印はつけない」と事務局が説明している。一つの会議の中で、矛盾した説明がなされていることになる。

2年前、「報告書の様式について見直すべき(☆印をとるべき)」との請願があり、「その必要なし」として5人の教育委員が総員で否決している。

文科省も「総合評定を付すことに問題ない」としている。本当に5人の教育委員が「今後も☆印をとる」と議論して決めたのか。どんな力が働いたのか。はなはだ疑問が残る。

答弁…今年度の採択の状況をふまえて今後、教育委員会の中で検討していく。

選挙に行きましょう！ 10月22日(日)鎌倉市長選挙/衆議院議員選挙

ずいぶん昔のように感じますが…。

憲法学者の90%以上が、「憲法違反である」と指摘しても、答弁がしどろもどろになっても…。

「議論は尽くした…」として次々に強行採決された「安保関連法」「特定秘密保護法」「共謀罪法」

国民の90%以上が納得しない「もり/かけ」問題を棚上げして…臨時国会冒頭解散???

それはないでしょう。…これは国民の多くの声です。

だから、選挙に行きましょう!!

鎌倉市長選候補「飯田よしき」さんと衆議院議員選挙候補「早稲田ゆき」さんをご紹介します。

鎌倉市長候補(予定者)

飯田よしきさんのプロフィール

1962年大町生まれ。御成小学校、腰越中学校、湘南高校、早稲田大学法学部卒業。1987年日本放送協会(NHK)に記者として入局。編集責任者として「データ放送」、「BS ニュース」等、チーフプロデューサーとして「ニュース7」「おはよう日本」「首都圏ニュース」等を担当。2016年5月退職。極楽寺在住。妻、一男一女。

衆議院議員候補(予定者)

早稲田ゆきさんのプロフィール

1958年生まれ。白百合学園、早稲田大学法学部卒業。1981年～1982年日本輸出入銀行(現・国際協力銀行)。2003年～2004年地元ミニコミ紙記者。2005年～2011年鎌倉市議会議員(2期)民主党鎌倉市議会議員団所属。2011年神奈川県議会議員に初当選。2015年神奈川県議会議員再選。民進党衆議院神奈川県第4区総支部長。雪ノ下在住。夫、長女、長男、母。